

# 江崎 貴大 議員

## 無会派



## 問 若者に選ばれるまちづくりを

### 答 若者のニーズを的確にとらえる

問 若年層の転出入の現状は。

答 総務部長 転出入とも就職等、仕事の都合に伴う理由が最も多い。

問 若者定着を最重点課題と位置づける考えは。

答 特定の一分野のみを最重点課題に位置付けるものではない。

問 若者が働き続けられる環境整備をどのように強化するか。

答 産業振興課長 市商工会の活動を支援。

問 子育て世代の定住意向をどう把握し、施策へ反映しているか。

答 健康福祉部長 「弥富市こども計画」策定過程で市民ニーズ調査を行い、各種施策等に反映。

問 若者参画を政策形成に生かす仕組みは。

答 市民生活部長 大学生等によるワークショップを開催し、意見等を総合計画審議会に報告。

問 若者の居場所づくりと市への愛着向上をどのように位置づけているか。

答 居場所における成功体験を「強い愛着」へつなげるよう支援。

問 今後5年間で、何を最優先に若い世代に選ばれるまちを実現するか。

答 市長 人口減少対策に総合的に取り組む。



## 問 誰も取り残さない相談支援を

### 答 相談支援体制の確保が必要

○障害福祉サービスの利用計画を本人や家族が作成するセルフプランについて、以下を問う。

問 セルフプランを選択する理由の内訳把握は。

答 健康福祉部長 把握していない。

問 児童分野でセルフプラン作成率が高い背景をどう分析しているか。

答 申請から決定までの期間が短くなり、速やかな利用開始に繋がる。

問 モニタリングの実施状況や基準は。

答 セルフプラン利用者には、申請もしくは更新時に、福祉課職員が支援内容を年1回確認。

問 相談支援事業所数は、需要に対して充足しているか。

答 相談支援専門員の数不足傾向。

問 望まないセルフプラン解消に向け、数値目標や工程を設定する考えは。

答 策定予定の「第8期障がい福祉計画及び第4期障がい児福祉計画」で数値目標を設定。

問 誰一人取り残さない支援体制構築へ、今後どのように取り組むか。

答 市長 地域の相談支援事業所等を通じ、まずは実態把握。

